



© LISA LARSON

北欧を  
愛する  
すべての  
人へ

2019年

3/16<sup>土</sup>

5/6<sup>振休</sup>月



スウェーデンの陶芸家  
傑作を一堂に!

# リサ・ラーソン展



【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日は開館)

【観覧料】一般/800円、高・大生/550円、中学生以下無料

【前売りは各200円引き、ちゅーピーくらぶ会員と団体(20名以上)は各100円引き】

※前売券販売所：中国新聞販売所(取り寄せ)、中国新聞備後本社、啓文社各店、JR尾道駅前観光案内所

※70歳以上、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料

【主催】尾道市立美術館、中国新聞備後本社 【後援】スウェーデン大使館、広島県、尾道エフェム放送

ちゅーピーCOM おのみち、エフェムふくやま 【特別協力】ロエースカ美術工芸博物館 【協賛】フィンエア

フィンエアカーゴ 【企画】アートインプレッション、松屋 【企画協力】トンカチ

心ころころ尾道

COCORONOMICHI



尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281



JAPAN HERITAGE  
日本遺産

作品キャプション：[中央]「ネコのみア(大きな動物園シリーズ)」陶器、鋳込み成形 1990年(オリジナルは1966年)、[左下]「屈折のポーズ」陶器 2014年、[右下]「ネコ」陶器、手びねり 2007年 ©Lisa Larson/Alvaro Campo

# リサとその家族の作品を含む、約190点の傑作が勢揃い!

森や水辺など豊かな自然に囲まれたスウェーデン。陶芸作家リサ・ラーソンはこの自然の中で生まれ、数々の作品を創作してきました。80歳を過ぎた今もその意欲は衰えることなく、やさしくかわいい動物や素材で温かみのある表情豊かな作品は、本国のみならず日本をはじめ世界中に多くのファンがいます。

本展では、2016年ロェスカ美術工芸博物館(スウェーデン・ヨーテボリ)で展示された初期から近年にいたる代表作とともに、彼女が所蔵する日本未発表の作品を含む約190点を一堂に展覧します。更に、彼女のよき理解者である夫・グンナルさんとの共作や最新の特別インタビュー映像など、芸術家リサ・ラーソンの魅力を紹介します。



「コーラス」陶器、砂型鋳込み成形 1999年



「拾う人」陶器 1979年



「ソウ(アフリカシリーズ)」陶器、鋳込み成形 1964年



「ベッド上の人物」陶器 1983年



「ボート・マン」陶器 1998年



「花器」陶器、ろくろ成形 1955年



「鳥」陶器、手びねり 1960年代



「皿」陶器、ろくろ成形 1960年頃



「ブルドッグ(大きな動物園シリーズ)」陶器、鋳込み成形 1960~68年



グンナル・ラーソン「抽象」アクリル、紙 2015年



「面(抽象表現の顔)」陶器 1979~1980年



【左】ロッタ(ラーソン家の子供シリーズ)陶器、鋳込み成形 1962~79年  
【右】ロッタ」陶器、手びねり 1961年



「待つ」陶器 1978年



グンナル・ラーソン「箱」漆喰、コルク、麻ひも 1974年



グンナル・ラーソン「カラス」陶器 1968年



「稲妻模様の深皿」陶器、ろくろ成形 1973年



「家族」陶器、ろくろ成形、手びねり 1960年頃



【左から】シャルロッタ、ベアータ、アマリア、エンマ(ABC少女シリーズ)陶器、鋳込み成形 1958~73年

©Lisa Larson/Alvaro Campo

## 関連行事

### ●ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説をします。  
[日時]3月24日(日)、4月28日(日)  
午後2時~(約40分程度) [対象]一般  
※申込不要、ただし展覧会観覧料が必要です。

### ●わいわい がやがや おしゃべり鑑賞会

子どもたちを対象にした鑑賞会です。  
鑑賞資料をもとに、楽しくおしゃべりしながら作品鑑賞をします。  
[日時]4月7日(日)、5月5日(日) 午後2時~3時  
[対象]中学生以下 [料金]無料  
※申込不要、付添いの方は1名に限り無料  
※午後1時~3時までには「わいがや専用受付」にて受付を済ませた方に限ります。

### ●アイシングで好きなネコを描こう!

猫型クッキーに専用の材料を使ってデコレーションしていただき、アイシングクッキーを完成させます。  
[講師]藤井なおみ(10月のさくら パティシエ)  
[日時]4月14日(日) 午後2時~3時  
[対象]子どもから一般 [定員]30名(先着順)  
[料金]300円  
※申込不要、展覧会観覧料が必要です。



### ●陶芸ワークショップ

#### 「手のひらサイズのいきものオブジェを作ろう」

シンプルな色と形で、自分だけのオブジェを作るワークショップです。

[講師]金野剛(陶芸家)  
[日時]3月17日(日) 午後2時~午後3時半程度  
[対象]子どもから一般 [定員]20名  
[料金]500円 [募集締切]3月10日(日)  
[申込方法]メール(bijutsu@city.onomichi.hiroshima.jp)または電話(0848-23-2281)にて尾道市立美術館までご連絡ください。  
※申込順に定員に達した場合は、そこで締切とさせていただきます。  
※手を洗った後に使うタオルやハンカチ等をご持参ください。  
※入館には展覧会観覧料が必要です。

SAMPLE



#### 「描いて作る丸いきもの」

素焼きの丸い陶芸作品に2・3色で色付けをして、自分だけの作品を作ろう。

[講師]金野剛(陶芸家)  
[日時]4月21日(日) 午後2時~午後3時半程度  
[対象]子どもから一般 [料金]500円  
※申込不要、展覧会観覧料が必要です。  
※席に空きがない場合はお待ちいただく場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

SAMPLE



## 利用案内



●JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばは「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。)なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。  
●お車の方は千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り200円割引します。  
●JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

尾道市立美術館  
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART  
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281

「手びねり」  
陶器 2001年